

未来の夢に向かって

子ども消防隊卒業生の今

子ども消防隊卒業生の一人、藤巻 然くん(2017～2019年まで在籍)は、7月に実施された中学校の職場体験で、糸魚川市消防本部を選択。放水や救助などの訓練を、2年ぶりに5日間みっちりこなしした藤巻くんインタビューしました。



子ども消防隊
2019年度副隊長

藤巻 然くん(糸魚川中学校 2年生)



藤巻くんの自己PRカードより

志望の動機や学びたいこと

僕はもともと人を助ける仕事をしたかったし、糸魚川子ども消防隊に所属していたので、消防士という仕事に興味をもちました。糸魚川大火などのたぐさんの物がうばわれる火災や、自分の家が火事にならないようにしたいです。なので、消防署で「学んだこと」を家族などに教えて、火災予防したいです。

Q なぜ、職場体験先に「消防本部」を選んだのですか？

A 子ども消防隊に入っていたことがきっかけで、消防士に興味がわきました。職業として「消防士になりたい」と思って選びました。

Q 子ども消防隊で学んで、今も役立っていることは？

A 火災のニュースが流れた時、出てくる言葉などが分かるので、話が聞きやすいし、身近に感じています。あと、



「すごいね！」

ロープ結索は今でも少し覚えています。

◀2年ぶりに挑戦！
巻き結びともやい結びを完璧に披露してくれました。

Q 職場体験をしてみて、「消防士」の印象は変わりましたか？

A 小学生の時は、ただ「カッコいいな」と憧れていましたが、消防士は火事になったら勤務が無い日でも出勤しなければならないなどを知って、大変な職業なのだと思います。それでも、今は「なりたい」という気持ちが強いです。

Q 消防士になる夢に向けて、これから心掛けていきたいことは？

A まずは家族など自分の周りの人にも防災について興味を持ってもらえるように、予防を呼びかけていきたいです。あとは、5日間やってみて、技術や知識だけでなく、体力づくりも必要だと思いました。

藤巻くんは、家庭でも「放送(防災行政無線)が鳴ってるから聞こえよ」と呼びかけることがあるそう。子ども消防隊の活動が未来への後押しになっています。

約10キロの空気ボンベを背負って煙の中へ！▶
「重さよりも呼吸のしづらさと周りが見えないことが大変でした(藤巻くん)」



訓練の様子



第13歩!

「ホコ天で楽しむ夏」

私が糸魚川に来てから1年半、ようやく糸魚川の夏行事に参加することができました。

7月31日(土)に行われた「本町通り商店街歩行者天国」。

暑い中でも金魚すくいやヨーヨー釣りなどに、子どもたちが長い

列を作っていました。私も久々に挑戦したくなりましたが、大人1人では・・・という事で断念。例年通りとはいかない状況が続きますが、来年は、妻やもうすぐ生まれてくる子供を連れて、楽しみたいです。

